

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-120250

(43)公開日 平成11年(1999)4月30日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z

B 6 5 G 1/137

B 6 5 G 1/137

A

審査請求 未請求 請求項の数2 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平9-291764

(22)出願日 平成9年(1997)10月9日

(71)出願人 397061987

株式会社鈴喜

千葉県銚子市潮見町6番地の4

(72)発明者 鈴木 喜代司

千葉県銚子市潮見町6番地の4 株式会社

鈴喜内

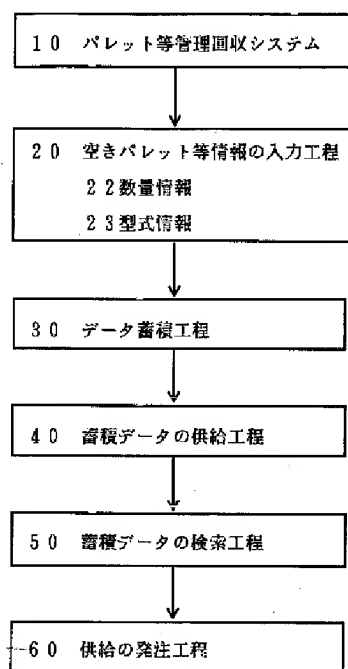
(74)代理人 弁理士 広瀬 文彦

(54)【発明の名称】 パレット管理回収システム

(57)【要約】

【課題】 空きパレット・通い箱等の情報を各地に点在する荷受人から寄せ集めて管理センターで集中管理し、供給を希望する生産者等にデータを提供し、データにアクセスして空きパレット・通い箱等を発注するパレット等管理回収システムを提供する。

【解決手段】 使用済の空きパレット・通い箱等の数量情報と型式情報を管理センターのインターネットのホームページに入力する工程と、管理センターでコンピュータに情報を蓄積し蓄積データを情報として提供する工程と、管理センターの蓄積データにアクセスして情報を検索してパレット・通い箱等の供給を発注する工程からなるパレット等管理回収システムで空きパレット・通い箱等の情報を荷受人(購入業者)が独自で入力するシステムである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用済の物品用の空きパレット・通い箱等の数量情報と型式情報を管理センターのインターネットのホームページに入力する工程と、管理センターのコンピュータに送られて来た情報を蓄積し蓄積データを情報として提供する工程と、管理センターの蓄積データにアクセスして情報を検索してパレット・通い箱等の供給を発注する工程からなることを特徴とするパレット等管理回収システム

【請求項2】 前記インターネットのホームページに入力する工程はパレット・通い箱等に搭載された物品の荷受人が独自で入力することを特徴とする請求項1記載のパレット等管理回収システム

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、物品を輸送する際に使用するパレット・通い箱・ドラム缶等の流通を管理するシステムに関し、特に、返送容器である空きパレット・通い箱等の情報をインターネットを利用して集中的に管理し、返送容器である空きパレット・通い箱等の保管状況と供給可能な流通状態を把握することにより供給を円滑にするパレット等の管理方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】通常、商品である物品はフォークリフト等を使用する都合上、パレットの上に乗せたままの状態では運搬される。物品は倉庫に高く重ねて保管され、運搬に当たっては、フォークリフト等を使用して高い保管場所から降ろされて、トラック等の運搬手段に搭載される。これらの運搬作業の間、物品はパレットの上に搭載されたままの状態、パレットからは積み降ろされることはない。物品の多くは生産された地点で移送の為にパレットの上に乗せられ、または通い箱等に入れられて運搬される。また、配送する目的地に到達した所でパレットから降されて物品だけが使用される。物品の移動の為に台となっているパレット等は使用が終了すると通常は回収されて再利用される。また、同様に通い箱は生産者が商品を詰めて荷受人に搬送する為の箱であり、商品を取り出した後は、パレットと同様に生産者に返送回収される容器である。

【0003】パレット・通い箱等は生産地点から消費地点に向かって一方通行で移動するため、再利用の為には移動台や荷物箱であるパレット・通い箱等だけを還流させる必要がある。パレット・通い箱等を常時還流させるにはコストがかかり、新たに製造されたパレット・通い箱等を使用する方がかえってコスト的には割安になることも考えられる。しかしながら、省資源やリサイクルまたは地球環境の保全等々の観点からは使用に耐える状態のパレット・通い箱等であれば還流コストを最小限に抑えた形で再利用する道を考えるべきである。パレット・通い箱等は通常は物品を荷台から降ろした時点で不要と

なり、保管するにしても場所を占拠する不要品扱いとなる。また、パレット・通い箱等は通常は生産者の側で用意するものであり、物品の消費者にとって物品の一部または附属品であり、使用後は単なる不要品となる性質の荷物台または容器である。

【0004】荷を降ろした空の帰り車に不要となった使用済のパレット・通い箱等を搭載して生産地点にまで再送することができれば効率的ではあるが、生産地点と消費地点が一致することは少ないのが実情である。大量の商品を消費する地点には大量の空きパレット・通い箱等が使用済の不要品として山積みされて還流を待つことになるが、生産地点は一カ所でないので、パレット・通い箱等の返送回収箇所は一定でない欠点がある。従って、従来のパレット・通い箱等還流方式では、特定の消費地点に多量のパレット・通い箱等が偏在して残ることになり、生産地点では空きパレット・通い箱等の供給が不足する事態が発生することになる。商品の流通は時間との争いである為に、使用済パレット・通い箱等の還流が正確でない現状では、多少のコストは犠牲にしても、新しいパレット・通い箱等の安定的に供給に頼らざるを得ないのが現状である。この状況は他の返送回収容器も同様であり、容器としてのドラム缶や通い箱やフレキシブルコンテナ等々も積み荷を降ろした後の空の容器は単に還流を待っているのが実情である。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、従来の流通の実態の不合理を除去するように考えられたシステムであり、最新の情報機器を駆使して、回収容器である空きパレット・通い箱等の情報を各地から寄せ集めて集中管理し、供給を希望する生産者が返送回収容器である空きパレット・通い箱等の情報のデータベースにアクセスすることにより空きパレット・通い箱等ならびに返送回収容器の還流をスムーズに行うことのできるパレット等の管理回収システムを提供することを目的としている。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために本発明に係るパレット等管理回収システムは、使用済の物品用の空きパレット・通い箱等の数量情報と型式情報を管理センターのインターネットのホームページに入力する工程と、管理センターのコンピュータに送られて来た情報を蓄積し蓄積データを情報として提供する工程と、管理センターの蓄積データにアクセスして情報を検索してパレット・通い箱等の供給を発注する工程からなる構成である。特に、インターネットのホームページに入力する工程はパレット・通い箱等に搭載された物品の荷受人が独自で入力するシステムを採用している。

## 【0007】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施例を図面により説明する。図1は本発明のパレット等管理回収システムのフローを示す図であり、図2はシステム全体を示す

配置図である。パレット等管理回収システム10は、空きパレット・通い箱等の情報の入力工程20と、データ蓄積工程30と、蓄積データの供給工程40と、蓄積データの検索工程50と、供給の発注工程60とからなる。

【0008】空きパレット・通い箱等の情報の入力工程20は、空きパレット・通い箱等の数量情報22と空きパレット・通い箱等の型式情報23とを管理センター1に装備されているインターネット2のホームページ3機能の中に入力する作業である。この実施例では、入力作業をパレットに搭載された物品の荷受人が独自で入力するシステムを採用している。通常は、空きパレット等の回収業者またはパレット等の供給業者が、空きパレット・通い箱等の情報を独自で収集し、かつ独自のコンピュータに収集した情報をデータとして入力している。しかしながら、この実施例では、空きパレット等の回収業者が情報を収集する方式ではなく、新たに荷受人を会員とする独自の空きパレット情報の入力網を構築して従来の情報より迅速にかつ正確に空きパレット・通い箱等の情報の把握を心掛けており、この入力工程20がこの発明のシステムの特徴となっている。

【0009】即ち、パレット・通い箱等を使用して商品を納入させた荷受人（購入業者または消費者等）に依頼して空きパレット・通い箱等の情報を入力する担い手とする。これにより、自分で仕入れた（または購入した）商品に付いて来たパレット・通い箱等の情報であるので正確であると同時に空きパレット・通い箱等の発生は極めて正確に把握できている荷受人本人による申告である為にその精度は他と比較すべくもない。また、情報入力作業への対価としては金銭的な解決策も考えられるが、他の適当な情報の提供等々をもって対価とすることも行われている。この方式によれば、入力作業は迅速であり、かつ荷受人自らの申告であるので精度が担保されている。これにより、回収業者は多大の手間を使って空きパレット・通い箱等の情報を収集する手間暇を回避できるとともに、空きパレット・通い箱等の情報が正確となる利点がある。

【0010】管理センター1は空きパレット・通い箱等を回収する業者の下に設けられる。管理センター1にはインターネット2が装備されており、ホームページ3が開設されている。空きパレット・通い箱等の数量情報22は空きパレット・通い箱等の数に関する情報であり、空きパレット・通い箱等の型式情報23はパレットまたは箱の幅、奥行き、長さ、高さ等々に関する規格化された情報である。また、ホームページは誰でもアクセスすることが出来、空きパレット・通い箱等の現状の状態を即座に知ることができ、この情報に基づいて必要に応じた空きパレット・通い箱等の注文をすることが可能となる。空きパレット・通い箱等を注文する形式は電子メールの電送であってもファクシミリを利用した文書による

注文であっても良い。この実施例では管理センター1にはインターネット2のホームページ3が開設されているが、通信機器の構成としてはこれに限定されるものではなく、空きパレット・通い箱等の情報が伝達できる構成のものであれば他の情報通信機器の組み合わせであってもよい。即ち電送された空きパレット・通い箱等の数量情報22と空きパレット・通い箱等の型式情報23を受け取って集積する機能があればどのような通信機械器具であっても代替することができる。また、集積された情報は供給を希望する生産業者が自由にアクセスして空きパレット・通い箱等の現状を確認することのできる構成である。

【0011】データ蓄積工程30は、各荷受人（または購入者）から入力工程により電送された空きパレット・通い箱等の情報（数量と型式）を集積記憶する工程であり、この実施例では、管理センター1に設置されたインターネット2の中に書き込み情報として新たな数値が書き込まれる。書き込まれた数値は、入力者によって確認された後、残存しているを空きパレット数・通い箱等の各型式の上に加算されて蓄積され、現在の空きパレット数としてインターネット2のホームページ3上に表示される。ホームページ3上に表示された現在の数値は誰でも容易にアクセスして数値を確認することができる。

【0012】蓄積データの供給工程40は、ホームページ3上に現在の蓄積データを表示させる作業であり、空きパレット等の数値は誰でもホームページにアクセスすることにより入手可能な状態で供給される。これにより、どの場所にどの型式の空きパレット・通い箱等がいくつ存在しているかが明確になる。パレット・通い箱等の回収はこの蓄積データに基づいて効率的に行われる。

【0013】蓄積データの検索工程50は、空きパレット・通い箱等を発注する生産業者等が蓄積されたデータを検索する操作であり、発注者は誰でも各自の端末によりインターネットを介して管理センターの該当するホームページにアクセスすることにより、空きパレット・通い箱等の情報を容易に検索することができる。

【0014】供給の発注工程60は、空きパレット・通い箱等を必要とする生産業者等が空きパレット・通い箱等をパレット・通い箱等の生産・回収業者に発注する作業であり、前記の蓄積データの検索工程で検索したデータに基づいて生産業者は必要に応じて回収したパレット・通い箱等の回送を依頼する。これにより回収業者は適宜に返送回収したパレット・通い箱等を注文主に配送することになる。

【0015】

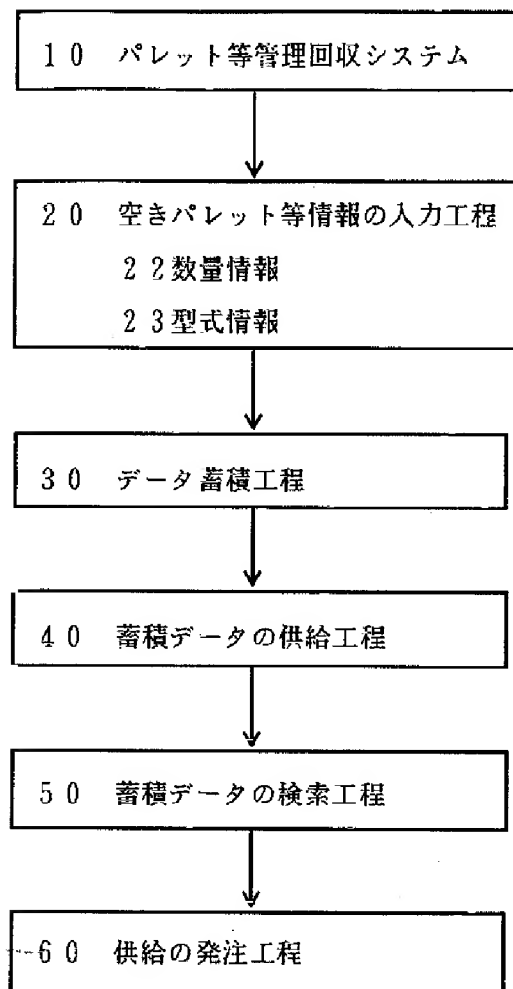
【発明の効果】以上に説明したように本発明にかかるパレット等管理回収システムによれば、荷受人自らが会員となって空きパレット・通い箱等の情報を管理センターに通報するので迅速かつ正確であり、かつ回収業者の手間が全くかからないという大きな利点がある。また、発

注する生産業者は、空きパレット・通い箱等の情報をコンピュータにより簡易に検索してから発注することができるので、安価な再利用の空きパレットを効率的に利用することができる。また、パレット等回収業者にとっても、空きパレット・通い箱等の現状が正確にかつ迅速に把握できるので効率的な回収が可能となった。さらに、空きパレット・通い箱等の情報を提供する会員となった荷受人（または購入者等）は不要となったパレット・通い箱等の早期の引き取りが依頼できると同時に、自己の知り得た不要品情報を僅かな時間を費やしてインターネット上に提供することにより、情報提供会員としての対価を得ることができる他にも情報を享受する利益が得られる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のパレット等管理回収システムのフロー

【図1】



図

【図2】本発明のパレット等管理回収システムの配置図

【符号の説明】

- 1 管理センター
- 2 インターネット
- 3 ホームページ
- 10 パレット等管理回収システム
- 20 空きパレット等の情報の入力工程
- 22 空きパレット等の数量情報
- 23 空きパレット等の型式情報
- 30 データ蓄積工程
- 40 蓄積データの供給工程
- 50 蓄積データの検索工程
- 60 供給の発注工程

【図2】

